

立本寺(仁和)公園を愛する会の仲間になりませんか。



立本寺(仁和)公園は、60年にわたり仁和学区にある一番大きな公園として、春は桜、夏は木陰、冬は焼き芋など、地域住民の憩いの場として、愛されてきました。また子育てや地域の防災にとっても大切な場所です。

しかし、公園地の所有者である立本寺の財政難で公園が存続の危機に見舞われています。立本寺(仁和)公園が廃止されないように、二度と危機が訪れないように地域住民が手を取り合って『立本寺(仁和)公園を愛する会』を発足し、中心となって応援していきたいと考えています。

立本寺(仁和)公園を愛する会

代表 西陣和楽園園長 衣川斗美子、有志一同

立本寺(仁和)公園を愛する会とは。

- 1) 立本寺(仁和)公園を中心に、地域を活性化する活動を行います。
- 2) その活動の一環として、立本寺(仁和)公園を利用したイベント(手作り市、フリーマーケット、他)の開催・企画・運営。
- 3) 会員相互の交流をはかり活動します。

問い合わせ先：楽天堂(豆屋)高島 075-811-4890

Facebook) <https://www.facebook.com/ryuhonjikouen.love>

Twitter) https://twitter.com/ryuhonji_kouen



Facebook



Twitter





京都市も公園存続に向けて交渉を続けています。

— 地域の私たちの気持ちを伝えませんか
— どうかお集まり下さい！

緊急

3月29日(火)

京都市の第2回住民説明会決定！！
仁和会館 18:30～

京

都

市

民

2016年(平成28年)3月11日 金

仁和公園 存続要望相次ぐ

京都市 初の住民説明会



京都市が管理する仁和公園の廃止計画について、大勢の住民が詰めかけた説明会(10日夜、京都市上京区の仁和会館)

京都市上京区の立本寺の境内地にある仁和公園を京都市が3月末で閉鎖する計画について、市の住民向け説明会が10日夜、地元(仁和)の学区で初めて開かれた。住民からは公園の存続を求める声が続出したが、市は

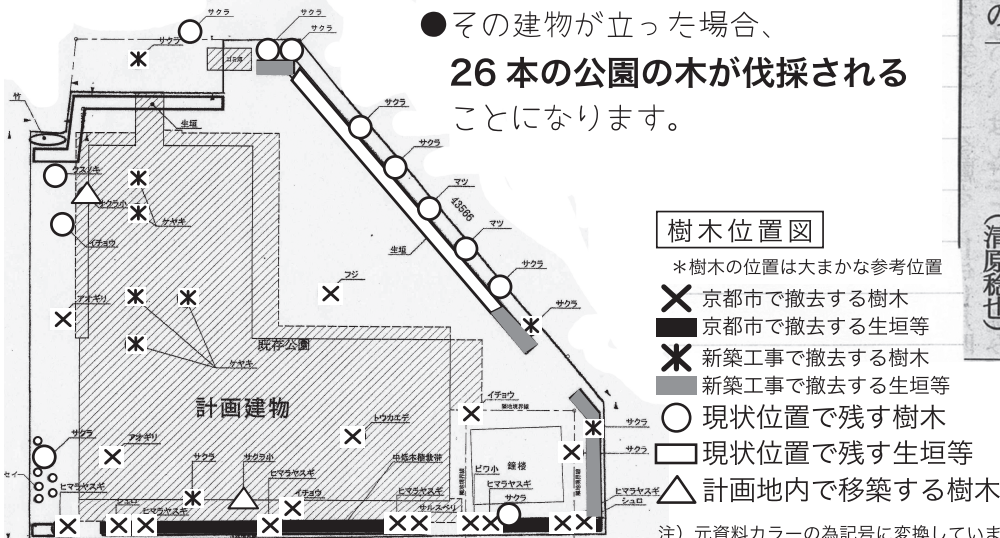
寺側との借地契約が今月末で切れるとして、公園を廃止する方針を示した。仁和公園は、立本寺の境内の一角を市が賃借し、1954年に開園。仁和学区東側区域の唯一の公園で、広さ約1700平方メートル。寺

「京都新聞 3月11日付け朝刊」

経緯

- 立本寺(仁和)公園は、立本寺の好意により寺の敷地を京都市が借りて運営している公園です。
- 今年の3月いっぱいその契約が切れるため、公園がなくなることが予告されています。
- 公園が廃止された場合その跡地には、公的な福祉施設である特別養護老人ホームではなく、民間業者によるマンション型の有料老人ホームが建設される予定です。
- 京都市は、公園の廃止予定日3週間前の3月10日に初めて地元説明会を開催しました。

- その建物が立った場合、26本の公園の木が伐採されることになります。



は民間事業者が跡地を貸し、老人ホームを建設する計画が進んでいる。

説明会では、財政難で寺側から2年前に賃料の値上げ要望があったことや、昨年7月に公園廃止の方針が決まっていたにもかかわらず、地元(仁和)に十分な説明をしなかった市の対応について

非難が続出。市公園管理課の岩田貴子課長は「説明が遅れたことは大変申し訳なく、おわび申し上げます」と陳謝した。

市は代替公園の確保に向けて立本寺と交渉中だと説明したが、住民からは「公園に遊びに来ている子供はどこへ行ったらいいの

か」「もう一度、寺と交渉できないのか」などの声が上がった。「とにかく廃止はストップして」との訴えに、岩田課長は「いただいた意見をしっかり受け止めたい。年度内にまた説明会を開催する」と述べた。

(清原裕也)



今年もお花見
したいね!!